

## 下関小ねぎ現地検討会を開催

### 下関農協ねぎ生産出荷協議会が小ねぎの現地検討会を行いました。

分類：新着ニュース, 農業

登録日：平成 28 年 12 月 13 日 | 下関農林事務所農業部

下関市安岡地区は、県内の小ねぎ主産地で、古くから栽培が行われおり、需要の高まる年末に向けて最も忙しい時期を迎えています。

平成28年12月6日(火)に、生産者9名のほか JA 下関と下関農林事務所農業部の職員が参加し、下関ねぎ生産出荷協議会(会長:村中正幸氏)による現地検討会が開催されました。

はじめに、生産者3名のハウスを巡回し、生育状況を確認しました。今年は、9月から曇天が多かったため、色が濃い下関ねぎの特長を出すのに苦労しています。このため、品質向上に向けて、水管理や肥培管理等、生産者間で活発に意見が交わされました。

ハウス巡回後、JA下関の職員からねぎ選別調製場の稼働状況や販売状況について報告されました。市場訪問等の販売促進を行ってきた結果、販売先が拡大し、昨年と同時期より共販量が多くなっています。

同協議会では、ねぎ選別調製場を活用した出荷調製作業の省力化や定期的な現地検討会、市場訪問による販路拡大に向けた取り組みを行うこととしており、農業部としても産地拡大や品質向上を図れるよう支援していきます。

(下関農林事務所農業部 杉山久枝)



小ねぎの生育状態を観察する様子



年末に収穫予定の小ねぎ

問合せ先

メール：[a171071@pref.yamaguchi.lg.jp](mailto:a171071@pref.yamaguchi.lg.jp) 電話：0837-66-1206